

元気な川崎！いきいき川崎区！

市政だより

2020
春号

川崎市議会議員 林としお

2020年4月吉日

令和2年第1回市議会定例会を終えて

「令和2年第1回川崎市議会定例会」が、2月17日から開催され、3月19日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を3月3日に行い、「令和元年東日本台風の検証に伴う行政報告」や「新型コロナウイルス感染症対策」などをはじめ、市政一般や提出された議案について質問を行いました。

また、今定例会に提出された7,925億円の令和2年度一般会計当初予算案や伊藤副市長を再任する人事案など計65件の議案について、審議の結果、全議案とも原案通り可決・決定をしました。

本定例会では、予算審査特別委員会が設置され、令和2年度一般会計予算をはじめ、各会計の予算審査に関わる各委員からの質疑を行いました。

市議会報告として、林敏夫が3月11日に行いました予算審査特別委員会での質問の概要を報告させていただきます。

■ 浸水対策事業費の取り組みについて

質問 浸水対策事業の推進について、令和2年度の予算額と取り組み内容についてうかがいます。

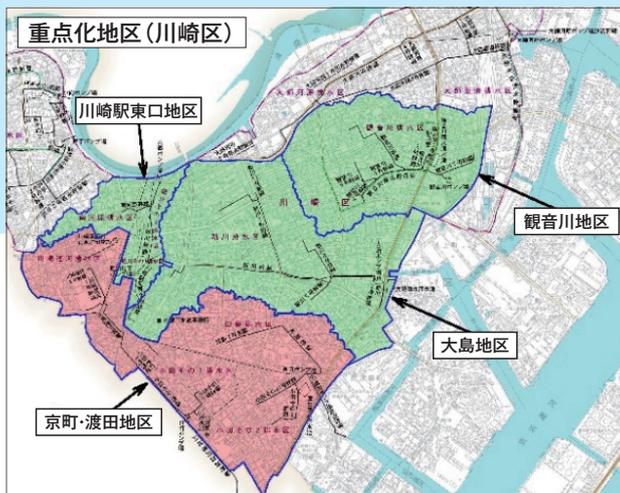
回答（上下水道事業管理者）初めに、令和2年度の浸水対策事業にかかる予算額については、工事費と委託費として約19億4,000万円を計上しています。

次に、主な取り組みについてですが、重点化地区における対策として、三沢川地区、土橋地区、京町・渡田地区などにおいて、雨水管の布設工事などを推進していきます。また、局地的な浸水被害が発生している箇所対策として、鷺沼地区などにおいても、雨水管の布設工事を行う予定となっています。

さらに、局地的な対策といたしましては、令和元年東日本台風を踏まえ、今夏の台風シーズンまでに、浸水被害のあった5地区における排水樋管ゲートの改良なども完了させる予定となっています。

質問 次に、『京町・渡田地区』、『川崎駅東口周辺地区』、『大島地区』、『観音川地区』の4地区の重点化地区における取り組みについては、昨年の予算審査特別委員会における私の質問答弁において「互いに隣接する地区であることから、浸水シミュレーションを活用し、一体的に浸水対策手法の検討を進めている。平成31年度の取り組みとしては、浸水対策手法や整備スケジュールを決定した上で、国との交付金に係る調整などを行い、順次実施設計に着手していく」としていました。今年度の具体的な取り組みと、令和2年度の具体的な取り組みについてうかがいます。

回答（上下水道事業管理者）今年度の取組といたしましては、浸水シミュレーションを活用した対策手法の検討を行い、京町・渡田地区において、既存施設のさらなる活用を可能とする導水管整備の詳細設計を発注したところであります。また、川崎駅東口周辺地区において、地下街利用者の安全な避難を可能とする仕組みの構築に向け、地下街周辺の下水管きよ内に水位計を設置する工事に着手したところであります。



令和2年度の取組としては、京町・渡田地区の導水管の整備に着手するとともに、川崎駅東口周辺地区におきましても、引き続き水位計の設置工事を進め、水位情報を活用した運用について、関係者との協議調整を行っていきます。

さらに、川崎区における互いに隣接する地区の一体的な対策をより展開していくため、今年度に引き続き詳細な検討や、国との調整を進め、早期着手を目指していきます。

質問 昨年末の令和元年第5回定例会の代表質問において川崎河港水門における浸水被害対策について質問させていただきましたが、その後、調査をどのように行ったのかがいます。

回答 (建設緑政局長) 調査につきましても、水門閉鎖時のゲート高さや堤防高さの測量を行い、多摩川の水位との高さ関係を整理いたしました。また、河床につきましても、河床高さの簡易測定や干満差を利用した遮水性の確認により、河床状況の調査を行ったところでもあります。現在、調査結果を精査するとともに、浸水の原因の究明や対策の詳細な検討を進めているところでもあります。

質問 令和2年度の短期的な浸水被害対策の取り組みについて、具体的な対応やスケジュールについてうかがいます。併せて、予算については令和2年度予算案に計上されていないと仄聞しますが、何故予算を計上していないのか、工事実施に伴う予算措置の考え方についてうかがいます。

川崎河港水門



回答 (建設緑政局長) 次の台風時期までに扉体ゲートの嵩上げや、水位計、カメラの設置などを予定しており、詳細な対策内容については、現在、検証委員会において、浸水原因の検証を踏まえた検討を行っているところでもあります。委員会での検証結果を踏まえ、今後、関係部局と協議・調整の上、必要な予算を確保し、対策を実施していきたいと考えています。

要望 川崎区における浸水リスクの高い重点化地区の取り組みについて『京町・渡田地区』で導水管の整備に着手することになりました。継続して質問してまいりましたが、ようやく実施に至りました。残る3カ所の重点化地区について、早期に着手いただくよう、更なる検討を強く要望します。

■ 東扇島環境改善対策事業について

質問 令和2年度予算案には、不法投棄や違法駐車車両への対策を強化するため、監視カメラや監視指導員を配置し、東扇島の環境美化及び交通環境の改善に向けた取組推進が示され、4,034万円余の予算計上がされていますが、事業費の内訳についてうかがいます。

回答 (港湾局長) 事業費の内訳につきましては、清掃費として約2,300万円、監視カメラの設置費として、約600万円、違法駐車対策費として、約1,100万円です。

質問 令和2年度の具体的な取り組みについてうかがいます。

回答 (港湾局長) 初めに、清掃費については、心理的にゴミを捨てにくい環境を構築するため、道路管理者の枠を超えた島内全体の投棄ゴミの撤去を行うものであります。

次に、監視カメラの設置費については、ゴミのポイ捨てや不法投棄、違法駐車を抑止を図るため、特に捨てられやすい箇所を中心に、20台程度の監視カメラを設置するものであります。

次に、違法駐車対策費については、島内の物流を阻害している、台切りシャーシをはじめとした違法駐車への解消に向け、警察OBによる監視指導員を配置し、施錠式警告書による取締りを実施するものであります。



要望 東扇島の環境改善については、とりわけ不法投棄問題は長年の課題であります。今後、東扇島の企業で働く皆さんとも連携を図りながら、環境改善を進めて頂くことを要望します。

林 事務所のご案内

連絡先：〒210-0835 川崎区追分町6-2 エステート森101
TEL. 044-223-6625 / FAX. 044-223-6635

電話連絡は平日の火・木・金の11時～17時30分。
留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。

プロフィール

- 1964年 1月28日生まれ
- 1982年 旧日本鋼管(NKK)京浜製鉄所入社
- 2014年 JFEスチール東日本製鉄所(京浜地区)総務部
- 2015年 川崎市議会議員初当選
- 2019年 川崎市議会議員2期目当選
- 2020年度
 - 環境委員会 委員長
 - 大都市税財政制度調査特別委員会

